

## 令和7年度 体育に関する指導改善計画

東広島市 立 中黒瀬 小学校

令和6年度の重点課題								
○全体 ・アンケートの結果では学年全体として、運動やスポーツをすることに肯定的であるが、授業の様子や外遊びの様子を見ると、運動することに苦手意識をもっていたり、体を動かすことが好きではない姿が見られたりする。								
○5年生 (男子)「握力」、「上体起こし」、「長座体前屈」の3項目で、県平均値かつ全国平均値を下回った。 (女子)「握力」、「ボール投げ」の2項目で、県平均値かつ全国平均値を下回った。 (共通)「握力」は、全国平均値を大きく下回っている。								

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項								
○体育科 ・「握力」の記録を高めるために、「鉄棒運動」の単元を通して、鉄棒にぶら下がったり、身体を支えたりする。 ・「長座体前屈」の記録を高めるために、年間を通して準備運動の中に柔軟体操を取り入れる。								
○体育科以外 ・「ボール投げ」の記録を高めるために、3~6年生の各学級に、当たっても痛くなく、軽量感のあるドッジボールを配付し、ドッジボールを行う児童を増やす。 ・ロング屋休憩(週1回)や、全員外で遊ぼうDAY(月1回)の取組を活用して、外遊びをする児童を増やす。 ・体育の授業が楽しくなると、運動やスポーツが好きになると捉え、全校児童に体育の授業に関してのアンケートを実施し、日々の指導に生かす。								

